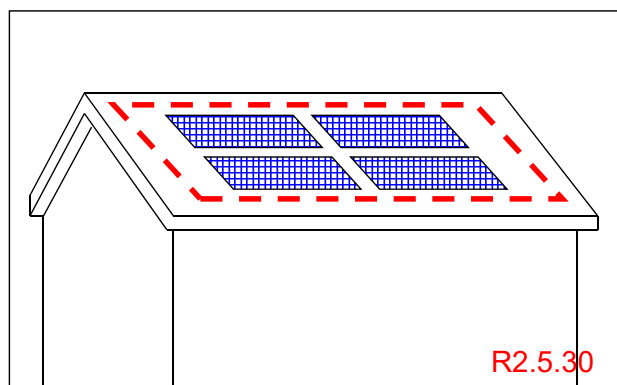


写真撮影例

- ・すべての写真に、撮影日を印字して下さい。
- ・写真はカラーで出力して下さい。
- ・銘板の写真は、文字が読み取れる状態のものを提出して下さい。

太陽光発電設備の場合

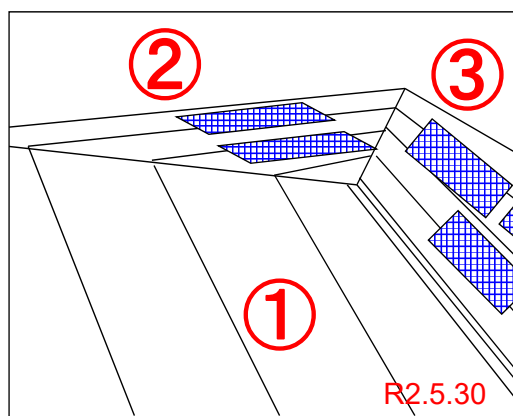
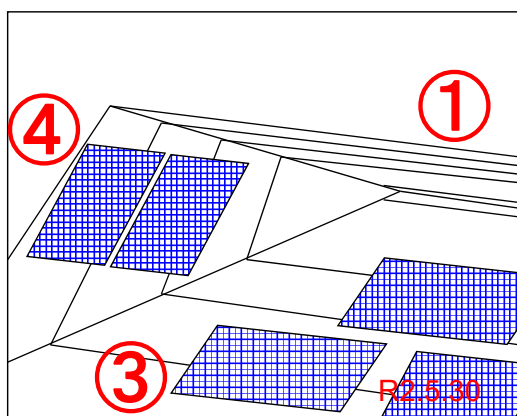
ア) モジュール設置屋根面等全て（枚数が確認できるもの）



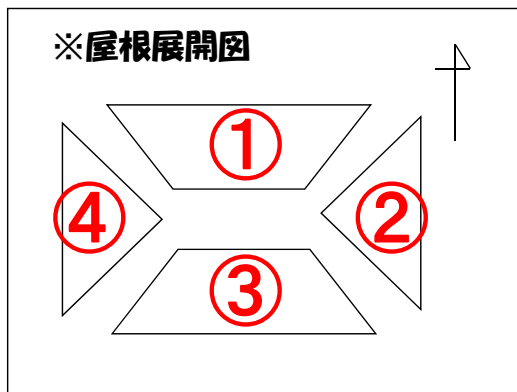
<ポイント>

- ・太陽電池モジュールの屋根全体の状況がわかること。
- ・モジュールの枚数が確認できるもの。

※設置モジュール全体が1枚に収まらない場合は、複数枚に分けて撮影してください。



※屋根展開図

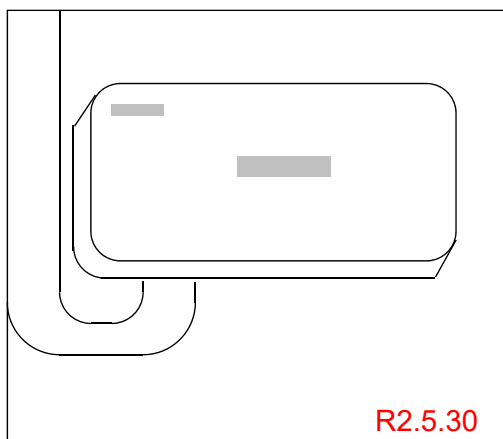


<ポイント>

- ・太陽電池モジュール設置後の屋根全体の状況がわかること。
- ・モジュールの枚数が確認できるもの。

※屋根の方角が分かるように、展開図と写真の両方に番号をふってください。

イ) パワーコンディショナ（外観が確認できるもの）



<ポイント>

パワーコンディショナを設置したことが分かること。
カバーをつけた状態で撮影して下さい。
(カタログと照合します。)

イ) パワーコンディショナ 〔銘板（型式、製造番号がわかるもの）〕

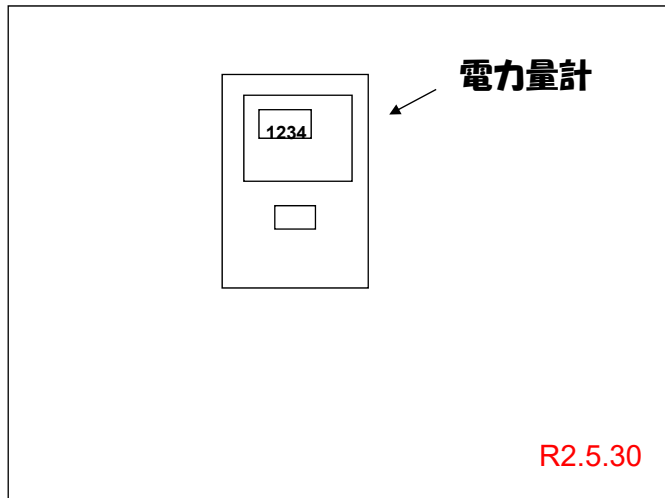
パワーコンディショナ	DC370V
最大許容入力電圧	5.5 kW
定格出力電圧	AC202V
定格周波数	50/60Hz
定格出力電流	AC27.5A
製造年月	2020年5月
製造番号	〇〇〇〇
販売元	株式会社〇〇
製造者名等	〇〇株式会社

R2.5.30

<ポイント>

パワーコンディショナの銘板内容が確認できること。
(様式第1号(その3)、カタログと比較します。)

ウ) 電力量計 (外観及び設置壁面が確認できるもの)

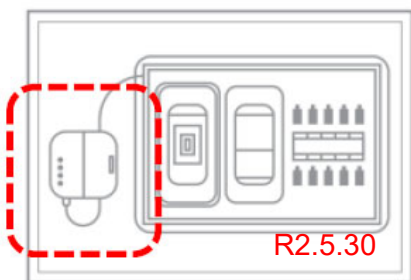


<ポイント>

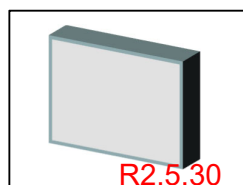
- ・電力量計が取り付けられていることが分かること。
- ※ケースのみは不可。
- ・設置壁面が確認できること

太陽光の申請でHEMSを設置している場合

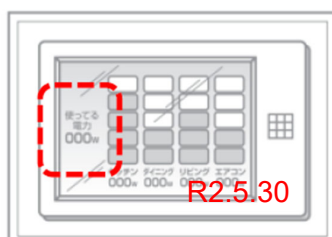
エ) 設備の設置状況が分かるもの (構成機器すべて) オ) 銘板



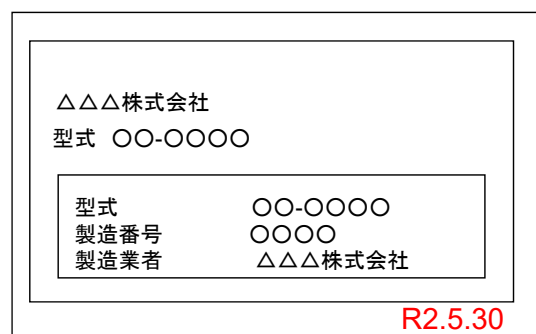
分電盤(機器の型番が読めること)



情報収集ユニットなど



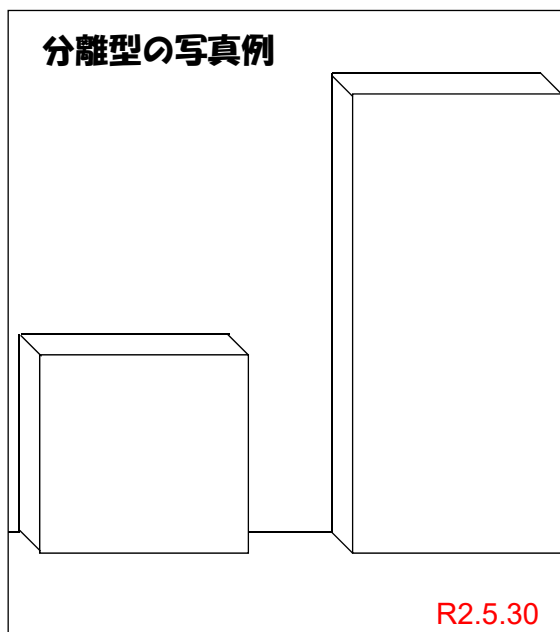
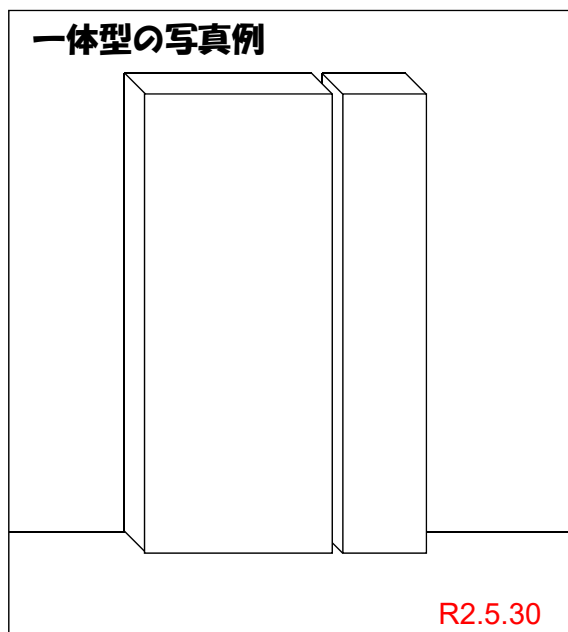
表示装置(電力の状況が確認できるもの)
モニターがシステムに含まれていない場合も必要
(表示できることを確認します)



銘板が確認できる写真
(銘板があるものはすべて必要です)
型番、製造番号が読み取れること

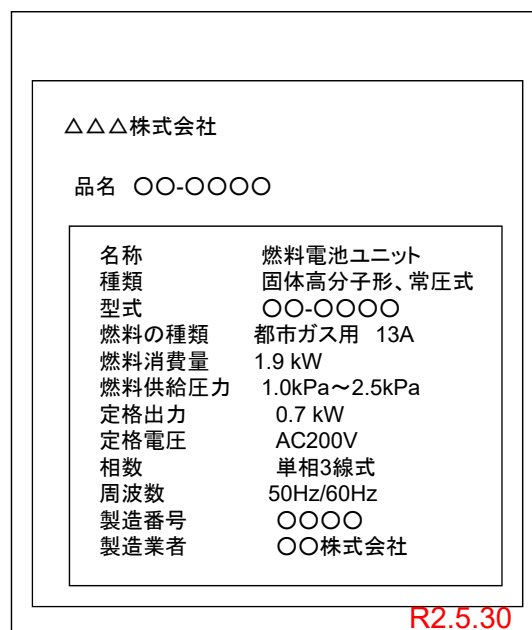
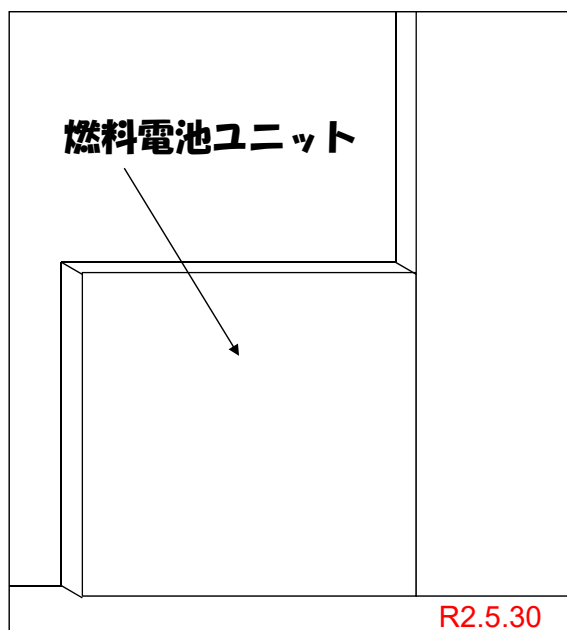
エネファームの場合

エ) 設備の設置状況が分かるもの



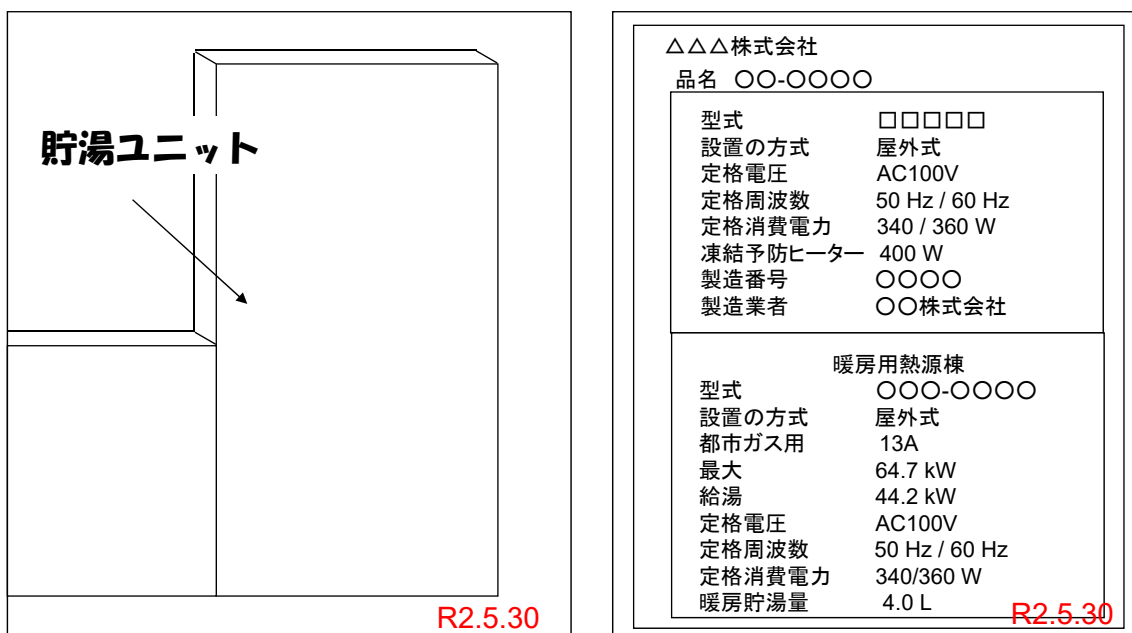
※機器のみではなく、設置されている場所が分かるように、
設置場所周辺も含めること

オ) 燃料電池ユニット・銘板



※燃料電池ユニットの確認に使用します。

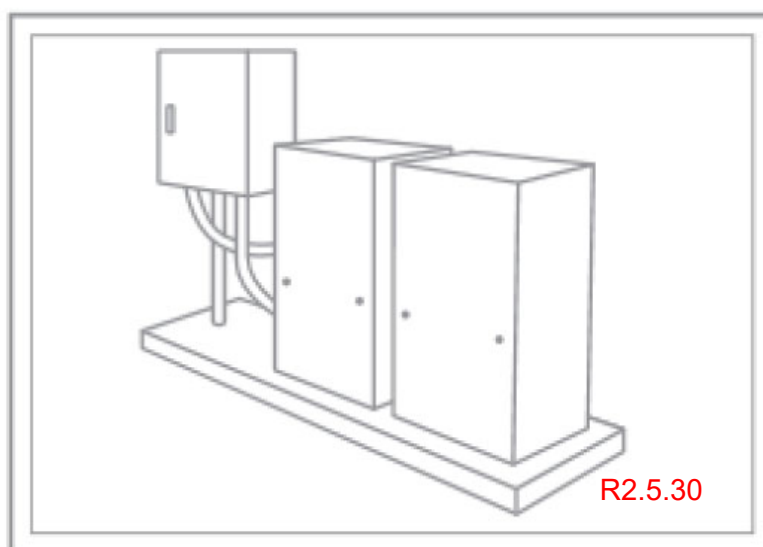
オ) 貯湯ユニット・銘板



※保証書と同一の型番、製造番号が確認できるもの

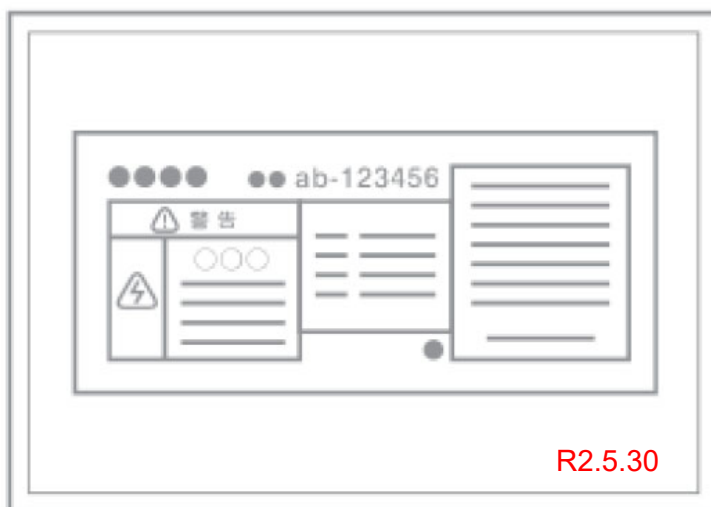
蓄電システムの場合

エ) 設備の設置状況が分かるもの



※機器のみではなく、設置されている場所が分かるように、設置場所周辺も含めること

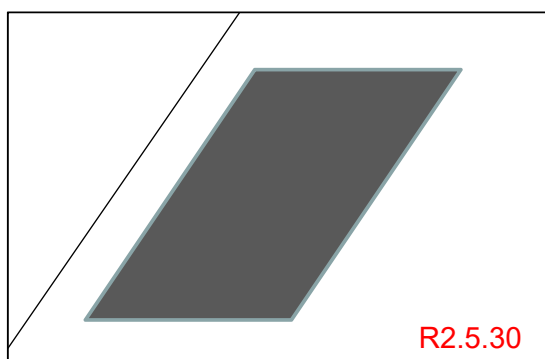
オ) 銘板



※保証書と同一の型番、製造番号が確認できるもの

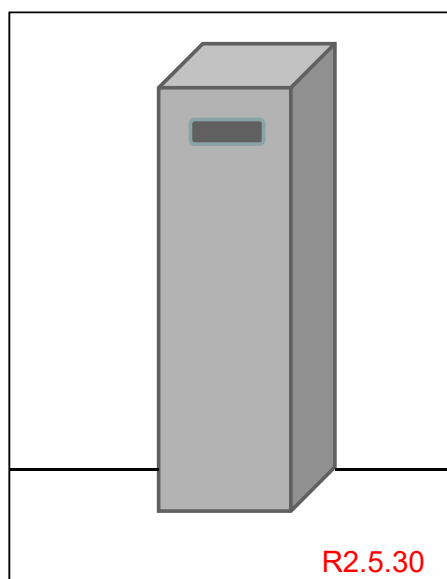
太陽熱利用システムの場合

エ) 設備の設置状況が分かるもの（構成機器すべて）



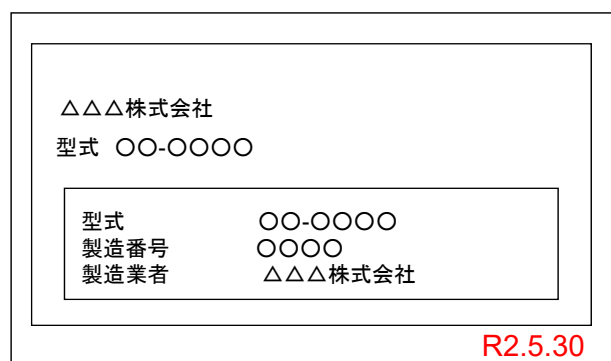
集熱器

※機器のみではなく、設置されている場所が分かるように、設置場所周辺も含めること



貯湯槽

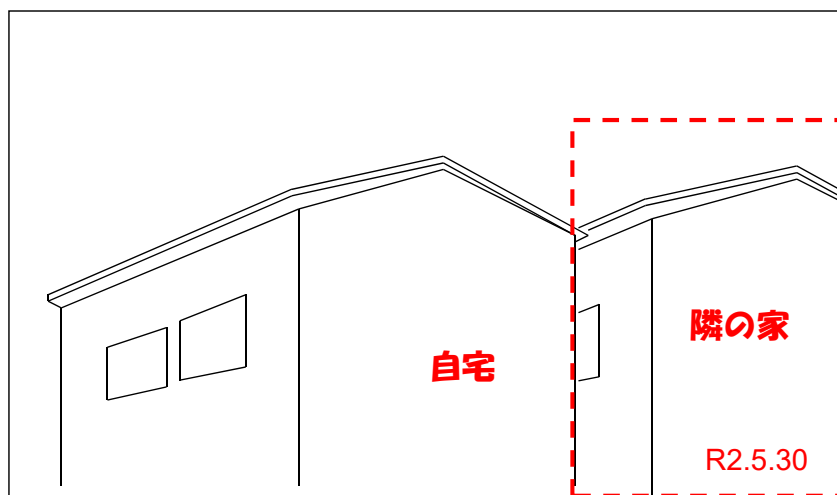
オ) 銘板



※保証書と同一の型番、製造番号が確認できるもの

共通

カ) 建物全体（周囲の家や構造物も含まれたもの）



<ポイント>

- ・周囲の建物等が入っていること。設備を設置した建物の特定に使用します。
- ・足場などを撤去した状態で、建物全体が見えるように撮影して下さい。
- ・設備が写っていかなくてもかまいません。